

農薬使用時安全性検討会議事要旨

1. 日時：平成20年11月13日（木）14：00～16：10
2. 場所：独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部 小会議室
3. 出席：赤堀委員、降矢委員（座長）、三瀬委員（50音順）

（事務局）：独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部

今回の農薬使用時安全性検討会は、イミシアホス、クロラントラニリプロール、メタフルミゾン、ヨウ化メチル、インドキサカルブ及びマンジプロパミドを議題として開催された。その要旨は次のとおりである。

議題1 イミシアホスについて

- （1）事務局より、本薬については、当検討会に初めて審議を依頼するものであること及び毒性試験成績等提出された資料の概要が説明された。
- （2）提出された資料を検討した結果、別紙1の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

議題2 クロラントラニリプロールについて

- （1）事務局より、本薬については、当検討会に初めて審議を依頼するものであること及び毒性試験成績等提出された資料の概要が説明された。
- （2）提出された資料を検討した結果、別紙2の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

議題3 メタフルミゾンについて

- （1）事務局より、本薬については、当検討会に初めて審議を依頼するものであること及び毒性試験成績等提出された資料の概要が説明された。
- （2）提出された資料を検討した結果、別紙3の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

議題4 ヨウ化メチルについて

- （1）事務局より、本薬については、非食用作物適用農薬として既に平成18年3月2日に審議を受けているが、その後食用作物に申請があったことから、改めて当検討会に審議を依頼するものであること及び毒性試験成績等提出された資料の概要が説明された。
- （2）提出された資料を検討した結果、別紙4の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

議題5 インドキサカルブについて

- (1) 事務局より、本薬については、前回平成20年7月31日に審議されており、前回指摘された事項について資料提出があった旨説明された。
- (2) 今回提出された資料を検討した結果、使用上の注意事項については別紙5のとおり、前回と同じとすることが適切とされた。

議題6 マンジプロパミドについて

- (1) 事務局より、本薬については、前回平成20年7月31日に審議されており、前回指摘された事項について資料提出があった旨説明された。
- (2) 今回提出された資料を検討した結果、使用上の注意事項については別紙6のとおり、前回と同じとすることが適切とされた。

その他

1. フルアジナムについて

事務局より、平成19年度に実施されたフルアジナムのモニタリング調査結果について報告された。

2. 次回日程について

次回の農薬使用時安全性検討会は、平成21年3月13日もしくは12日に独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部小会議室にて開催することとされた。

(照会先) 農薬検査部 毒性検査課 荒巻、鶴澤
電話：042(383)2142

オイミシアホス

(総合評価) 使用上の注意事項

イミシアホス 1.5%粒剤

- (1) 有機リン剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤がある。
- (2) 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (3) 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (4) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (5) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

○クロラントラニリプロール

(総合評価) 使用上の注意事項

クロラントラニリプロール 10.0%フロアブル、5.0%フロアブル

- (1) 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- (2) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。

クロラントラニリプロール 1.0%粒剤

本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。

○メタフルミゾン

(総合評価) 使用上の注意事項

メタフルミゾン 25.0%フロアブル

本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
使用後は洗眼すること。

○ヨウ化メチル

(総合評価) 使用上の注意事項

ヨウ化メチル 99.0%くん蒸剤(ヨーカヒューム)

- (1) 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合は、通風の良好な場所で安静にして、直ちに医師の手当を受けること。
必要に応じて人工呼吸または酸素吸入を行うこと。
 - (2) 本剤による中毒に対しては、動物実験でグルタチオンの腹腔内投与で有効であるとする報告がある。
 - (3) 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
 - (4) 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意すること。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
 - (5) 本剤を露地、施設で使用する場合で、投薬、被覆フィルムの除去及び耕起によるガス抜きを行う際は、保護眼鏡、防護マスク(土壌くん蒸用:ヨウ化メチル専用吸収缶付き直結式小型防毒マスク)、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
 - (6) 本剤を倉庫、天幕で使用する場合で、投薬及び開放作業を行う際は、隔離式吸収缶(ヨウ化メチル用)付き全面面体防毒マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
 - (7) 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
 - (8) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
 - (9) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
 - (10) くん蒸中及び開放中は付近の見やすい場所に「くん蒸中につき立ち入り禁止」の危険表示をするとともに、処理前にはくん蒸場所周辺に作業関係者以外の者がいないことを確認し、ガス抜き終了まで十分警戒すること。
 - (11) ガス漏れがないようにくん蒸庫等設備は予め確実に目張りをする。被覆に当たっては被覆材の周辺からガスが漏れないよう覆土を十分に行うこと。
 - (12) くん蒸後はくん蒸庫等内のガス抜きをして、完全に換気してから立入ること。
 - (13) 本剤の開放に当たっては人畜等に被害を及ぼさないよう周囲の状況に十分注意すること。
- (第12項 鍵のかかる場所に保管すること。)

ヨウ化メチル 99.0%くん蒸剤(検疫専用ヨウ化メチル)

- (1) 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合は、通風の良好な場所で安静にして、直ちに医師の手当を受けること。
必要に応じて人工呼吸または酸素吸入を行うこと。
 - (2) 本剤による中毒に対しては、動物実験でグルタチオンの腹腔内投与で有効であるとする報告がある。
 - (3) 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
 - (4) 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意すること。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
 - (5) 本剤の投薬及び開放作業の際は隔離式吸収缶(ヨウ化メチル用)付き全面面体防毒マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
 - (6) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
 - (7) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
 - (8) くん蒸中及び開放中は付近の見やすい場所に「ガスくん蒸中につき立ち入り禁止」の危険表示をするとともに、くん蒸中は監視を厳重に行うこと。
 - (9) くん蒸庫等設備はガス漏れがないように予め目張りを確実にすること。
 - (10) くん蒸後はくん蒸庫等内のガス抜きをして、完全に換気してから立入ること。
 - (11) 開放に当たっては人畜等に被害を及ぼさないよう周囲の状況に十分注意すること。
- (第12項 鍵のかかる場所に保管すること。)

○インドキサカルブ

(総合評価) 使用上の注意事項

インドキサカルブ 5.0%水和剤

- (1) 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- (2) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

○マンジプロパミド

(総合評価) 使用上の注意事項

マンジプロパミド 23.3%フロアブル

通常の使用方法ではその該当がない。
